

いばらき未来基金は、
寄付文化と寄付が循環するしくみを

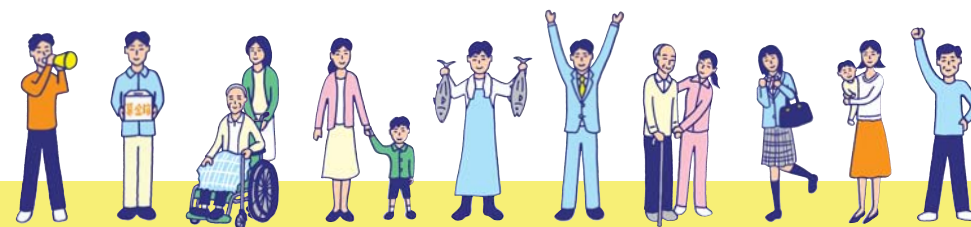
茨城につくるために、

認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズが、
茨城新聞社、パルシステム茨城、茨城大学地域総合研究所、
茨城県経営者協会、連合茨城、J A茨城県中央会などと
協力して運営しています。

いばらきの未来を、
と一緒に大きく育ててください。



いばらき未来 カタログ



いばらき未来基金事務局

〒310-0022 水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館2階

認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ内

029-300-4321(TEL) 029-300-4320(FAX) office@ibaraki-mirai.org

いばらき未来基金

わたしたちの住む茨城県は、いま
さまざまな問題を抱えています。



外国人の問題

職場や学校で言葉や食習慣の
違いに困っている人がたくさん
います。



お年寄りのケア

将来の暮らしに不安を抱えて
いる高齢者が増えています。



規格外の野菜

規格外の野菜を出荷すると値
崩れしてしまい、捨てるしか
ありません。



いじめと虐待

子どものいじめや虐待、地域
で見守るしくみが必要とされ
ています。



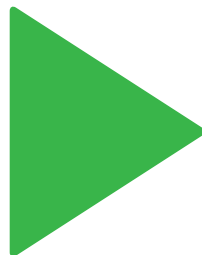
引きこもりの増加

18歳以上の引きこもり青年
は、毎年増え続けています。就
労するための支援が必要です。



環境破壊

霞ヶ浦をはじめとする豊かな自
然環境破壊が危惧されています。



さまざまな問題を解決し、
暮らしやすい地域をつくるために
いばらき未来基金は
地域の支えとなる活動を
応援します。
みなさまのあたたかい寄付が
茨城のより良い未来をつくれます。

🌱 ① 事業を指定して寄付をする 🌱

助成金に応募された9つの事業をP6～P14に掲載しました。
応援したい事業を選んでください。

*いただいたご寄付は、公正な審査の結果、寄付者の方のご意向を考慮して希望された事業への助成を実行します。その際、20%はいばらき未来基金の運営費となります。

- NO.1 ひきこもり青年の活動を支える人材拡充プロジェクト …… 6
特定非営利活動法人 とらい
- NO.2 アルコール依存症から新しい生活へ …… 7
特定非営利活動法人 茨城県断酒つくばね会
- NO.3 高齢者や障がい者を支えるコミュニティづくり …… 8
特定非営利活動法人 暮らし協同館なかよし
- NO.4 子どものコミュニケーション力を育むための大人養成プログラム …… 9
特定非営利活動法人 ひたち親子の広場
- NO.5 不登校やLD等学習につまずきがちな子ども達への支援事業 …… 10
特定非営利活動法人 リヴォルヴ学校教育研究所
- NO.6 親子であそぼう！ごっこくらぶ …… 11
つくば子ども劇場
- NO.7 もっと身近に実験教室～理科の芽を育むプロジェクト～ …… 12
おもしろ！ふしぎ？実験隊
- NO.8 若年性・軽度認知症デイケア事業「共に考え 共に創る1日」 …… 13
特定非営利活動法人 まちなか交友館まどか
- NO.9 『古民家「華の幹」の再生からはじめる 筑波山麓活性化モデル事業』 …… 14
小田古民家再生保存の会・華の幹

「地域の役に立つ寄付をしたい。」
「どこかに寄付をしたいけれど、
どこへ寄付すればよいかわからない。」と、
迷っている方はいませんか。
いばらき未来基金なら
自分のテーマに合った、
支援したい寄付先が見つかります。

事業指定プログラム NO.1

ひきこもり青年の活動を支える 人材拡充プロジェクト

特定非営利活動法人 とらい

住所：〒310-0063 水戸市五軒町 2-2-23-101

連絡先電話番号：029-233-6544 メールアドレス：npotry@npotry.org

WEBサイトのURL：http://npotry.org



私たちはいばらきの未来をこう変えます！

18歳、高校を卒業する年齢になっても、5年も10年も社会にうまく溶け込めず、自分の家にひきこもってしまう青年が増えています。何らかの原因でひきこもり状態になった彼らは、選択の余地なくひきこもり状態になって苦しんでいます。茨城県内だけでも、ひきこもり青年は1万6千人以上いると推算され、その家族も日々悩んでいます。彼らも、ずっとこのままでもいいとは思っていません。働いて、人の役に立って、両親を安心させたい。そして、地域に貢献したい。その様に考えている方たちのニーズに応え、そんな人材をゆっくと育てていくことが私たちの活動の目的です。

事業内容

お弁当調理・販売を通して研修をしている青年の研修指導者を育成し、その研修指導者による居場所づくりをします。また、現在は親が悩み抱え込んでいるケースが多く見受けられるため、当事者の親の会などを立ち上げ、当事者のみでなく家族をサポートする仕組みを作ります。

対象者

社会復帰を望んでいるひきこもりがちな青年とその家族

募集金額 1,900,000円

1,000円で研修指導者が1時間の調理サポートができます。

2,000円で就労に向けたPC教室を開催できます。

5,000円で信頼できるカウンセラーに相談できます。

事業指定プログラム NO.2

アルコール依存症から 新しい生活へ

特定非営利活動法人 茨城県断酒つくばね会

住所：〒300-1232 茨城県牛久市上柏田 2-18-1

連絡先電話番号：029-822-1895 メールアドレス：yqrgp968@ybb.ne.jp



私たちはいばらきの未来をこう変えます！

近年のアルコール依存症者は、女性、若年者、高齢者へと拡がりをみせています。これらの問題を踏まえ酒害問題を減少・根絶する為アルコール依存症に関する啓蒙を行い、酒害の及ぼす社会悪の防止に努め、共に自らの意志により断酒生活を実行しようとする者と酒害者家族の、社会性回復の推進を図り、もって広く保健、社会福祉に寄与する為に活動する。

【行動指針】

- ・アルコール問題の発信基地となる。・安全に語れる場の提供 ・アディクション概念の共有
- ・家族プログラムの充実 ・「心の医者」になる

事業内容

- ・酒害啓発のための断酒例会及び市民公開セミナーの開催
アルコール起因による自殺者根絶推進や、専門医による講演会、相談会の実施や、自殺体験者の体験談を披露するなど、啓発活動を続けていきます。
- ・飲酒問題撲滅キャンペーンの実施
イベントでのチラシ配布や相談会を実施します。
- ・市民家族教室・相談会の開催
1. 行政・医療による家族相談会への参加、(酒害者家族の体験よりの支援)
2. 行政よりの要請により家族相談会開催

対象者

酒害者本人：断酒を目指す人
酒害者家族：酒害問題に悩んでいる家族・友人
医療・行政：アルコール専門病院・保健センター等
教育機関：学校・教育委員会

募集金額 500,000円

70,000円で市民家族教室・相談会を月1回開催できます

80,000円で飲酒撲滅キャンペーンを1回開催できます

100,000円で酒害相談会を月1回開催できます

250,000円で市民公開セミナーを開催できます

事業指定プログラム NO.3

高齢者や障がい者を支える コミュニティづくり

特定非営利活動法人 暮らし協同館なかよし

住所：〒312-0012 茨城県ひたちなか市大字馬渡 2525-498

連絡先電話番号：029 (273) 8388 メールアドレス：info@npo-nakayoshi.org

WEBサイトのURL：http://www.npo-nakayoshi.org/



私たちはいばらきの未来をこう変えます!

地域の様々な課題は、住民自らの力で解決できるものもたくさんあります。地域を知る住民の支えあいが高齢者や障害をもつ人、子育て中のお母さんなど、誰もが孤立することなく、安心して暮せるまちに変わります。みんなが気軽に集い、楽しみ、住民の生きがいづくりの場となる「たまり場」を中心にコミュニティを再生します。

事業内容

1. 日常的な買い物ができる場の運営
2. 健康づくりや趣味の活動など、みんなのふれあえる場の運営
3. 地域の農家や事業者を支援し、地産地消を応援する活動
4. 住民主体のまちづくり事業の展開

対象者

地域住民、主としてシニア世代の社会貢献、地域貢献に意欲のある人(活動ボランティア)。利用対象は自由

募集金額 2,500,000円

5,000円で子育て交流サロンが1回開催できます。

10,000円で高齢者のふれあい食事が1回開催できます。

20,000円で介護予防講座やシニアライフ講座等が1回開催できます。

事業指定プログラム NO.4

子どものコミュニケーション力を 育むための大人養成プログラム

特定非営利活動法人 ひたち親子の広場

住所：〒317-0062 日立市平和町2-6-2

連絡先電話番号：0294 (22) 3023 メールアドレス：hitachioyako@y5.dion.ne.jp

WEBサイトのURL：http://www.k4.dion.ne.jp/~h_oyako



私たちはいばらきの未来をこう変えます!

いじめ・不登校・非行・虐待・自殺…子どもを取り巻く社会は大きな問題を抱え続けています。このような社会の中で、子ども達が力強く生き抜いていくためには、コミュニケーションスキルの向上が必要です。そのしかけとしては集団遊びが最も有効で、それを支え、見守る大人達が必要です。私たちは、豊かな感性とコミュニケーションスキルを身に付けた子ども達・それをサポートする大人達を増やすことで、いばらきの未来を担う人材の育成に貢献したいと考えています。

事業内容

- ワーク1：子どもと上手に関わる大人達を養成するためのワークショップを開催する。講師として、子ども支援の専門家を招き、遊びについての講話や、実習を行う。
- ワーク2：子どもと関わる実践編として、地域の商店街・公共施設等を舞台とする街遊びを企画し、そこに大人スタッフとして参加する。
- ワーク3：日常と離れた環境の中で、子ども達と生活をともにしながら、実践的なコミュニケーション力を引き出す場としての子どもキャンプを行う。

対象者

- ワーク1：子どもと関わる大人(教職員・保育士・学生ボランティア・子育て中の親を含む)
- ワーク2：小学6年生までの子どもと大人
- ワーク3：小学4年生以上の子どもと大人

募集金額 500,000円

10万円プロによる大人のワークショップが行えます。

50万円大人ワークショップと街遊びが行えます。

60万円大人ワークと街遊びと子どもキャンプが行えます。

事業指定プログラム NO.5

不登校やLD等学習につまずきがちな子ども達への支援事業

特定非営利活動法人 リヴォルヴ学校教育研究所

住所：〒305-0051 茨城県つくば市二の宮 4-3-2 ニの宮コーポ C 101
 連絡先電話番号：029-856-8143 メールアドレス：rise@cure.ocn.ne.jp
 WEBサイトのURL：http://rise.gr.jp/



私たちはいばらきの未来をこう変えます！

県内の小中学生だけでも、不登校は約 2,700 人。学校になじめず、もてる力を出せずにいる子どもも少なくありません。未来を担う子ども達。その可能性を埋もれさせてしまうのは、地域社会にとっても大きな損失です。私たちは「みんなちがって みんないい」をモットーに、一人ひとりに異なる育ち・学びを支えます。また、実践と研究の成果を広く学校や社会に還元し、一人ひとりが大切にされ「個性輝くいばらき」の実現に寄与します。

事業内容

- ・おもに不登校の子ども達を対象とした「ライズ学園」を週 4 日開級します。
- ・学校や地域の方々とも協力しながら、教科の学習や体験的な学習をサポートします。
- ・定例のスタッフ勉強会以外に、研修会に参加するなどして支援の質を向上させます。
- ・12 年間の実践と研究の成果を冊子にまとめ、学校や地域社会に還元し、「ちがいに」に対する理解を広めます。

対象者

不登校児童生徒 および LD 等学習につまずきがちな子ども達（小学生から高校生まで）

募集金額 1,700,000円

- 3,000円 で経済的理由から通園が困難な子の 1 日分の学びを支えられます。
- 10,000円 で専門のコーチを招いて、スポーツ教室を 1 回開催できます。
- 50,000円 で週 2 日勤務の学園スタッフ 1 ヶ月分の人件費を支払えます。
- 100,000円 で学習上のつまずきを軽減する工夫をまとめた冊子 500 部を配布できます。

事業指定プログラム NO.6

親子であそぼう！ ごっこくらぶ

つくば子ども劇場

住所：〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-4-10-202
 連絡先電話番号：029-852-9134 メールアドレス：298kodomogekijo@gmail.com
 WEBサイトのURL：http://www013.upp.so-net.ne.jp/kodomogekijo298/



私たちはいばらきの未来をこう変えます！

乳幼児期に始まる「ごっこあそび」は、子どもの心の発達に欠かせないものです。子どもたちは、あそびの中で、自分以外の他者とふれあい、情緒を育てていきます。「ごっこくらぶ」は、同じ年頃の子どもたちが群れてあそぶ場を生み出し、ひとりぼっちで育ててに悩む母親が、コミュニティとかがわるきっかけを作ります。つくばで子育て！を応援する事業です。

事業内容

月 1 回、ごっこくらぶを開催。親子が触れ合うあそびのヒントを紹介・実践。子どもへの接し方に悩む親を支援し、子ども同士をあそばせる場所として、親同士が知りあうきっかけとして機能します。年 2 回、専門家による学習会を開催。子どもの心がどのように育つのか、親の理解が子育ての悩みを軽減します。年 1 回、親子向けの舞台鑑賞会を実施。地域で良質の文化体験を提供します。

対象者

0～4 歳児の親子。お父さんはもちろん、おじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんペアも歓迎。

募集金額 150,000円

- 300円 で 1 組の親子が、ごっこくらぶで楽しい時間を過ごせます。
- 2000円 で 1 組の親子が、乳幼児向けの演劇鑑賞を体験できます。
- 10000円 でくらぶの開催拠点を増やすことができます。

事業指定プログラム NO.7

もっと身近に実験教室 ～理科の芽を育むプロジェクト～

おもしろ！ふしぎ？実験隊

住所：〒305-0045 つくば市梅園 2-30-10

連絡先電話番号：029-851-0244 メールアドレス：rikanometai@hotmail.co.jp

WEBサイトのURL：http://tsukuba-ibk.com/omosiro/



私たちはいばらきの未来をこう変えます！

子どもの遊び場の選択肢に、児童館での実験教室というのがあったら、素敵だと思いませんか？理科を学習するのではなく、理科を楽しみ不思議に触れる。そんな活動を提供したいと思います。そこでは市民の方々も一緒に理科の芽を育み、草の根的に理科好きのすそ野を広げていこうと思います。こうした活動は、将来的には科学リテラシーを持った市民の育成につながり、本当の意味での『研究学園都市・科学の街』ができると思います。

事業内容

【1】子どもたちにとって身近で安全な児童館で、子どもたちと同じ目線（研究者・教師の”先生”的ではない）の親しみやすい実験教室を行います。【2】市民の方々にも参加いただき、科学の楽しさを体感していただくことはもちろん、科学ボランティアの育成の場・情報提供の場とします。【3】これまでの8年間の活動内容を公開し、科学のすそ野を広げる活動を促進させます。

対象者

子ども、市民の方々

募集金額 381,000円

200円で子ども1人が実験教室を楽しめます。工作もできます。

1,000円で大人5人が実験教室を楽しめ、科学ボランティア体験ができます。

10,000円で一つの児童館（約50人）の実験教室が開催できます。

事業指定プログラム NO.8

若年性・軽度認知症デイケア事業 「共に考え 共に創る1日」

特定非営利活動法人 まちなか交友館まどか

住所：〒300-4231 つくば市北条51-1

連絡先電話番号：029-867-6117 メールアドレス：machinakamadoca@dream.jp

WEBサイトのURL：http://www.machinakamadoca.org/



私たちはいばらきの未来をこう変えます！

認知症は今や国民病。なってしまったら型にはまった生活しかできないのでしょうか？「普通の人のあたりまえの願いを叶えたい。」既定路線に固執することなく、すべての人が共に過ごせる社会を実現するため、臨機応変の対応をしていきます。私たちが提供するサービスは、まだ規格外ですが、A級品を目指して発信します。

事業内容

認知症の方、ご本人へ。

病気であっても、もっと自由に、もっとご本人らしい暮らし方を応援します。

ご家族へ。

安心と希望が持てるよう、知識と経験を活かして伴走いたします。

対象者

地域において、介護・見守りが必要な若年性認知症と診断された患者、高次脳機能障害の患者で、介護保険外のサービスを利用したい方。家族。

募集金額 2,400,000円

21,000円で若年性認知症の方3名がデイケアサービスを1日、利用できます。

事業指定プログラム NO.9

『古民家「華の幹」の再生からはじめる 筑波山麓活性化モデル事業』

小田古民家再生保存の会・^{はな} ^き華の幹

住所：〒300-4223 茨城県つくば市小田3034

連絡先電話番号：080-5544-536 メールアドレス：hananokioda@gmail.com

WEBサイトのURL：http://blog.livedoor.jp/odakominka/



私たちはいばらきの未来をこう変えます！

いばらきに残る古民家を、人々の活動、交流の場として活かし、使い続けることで、生きた遺産として次世代に引き継いでいきたい。子供達が誇りに思えるふるさと、いばらきの原体験の場として、豊かな自然と共存する暮らしの技、茨城の伝統文化を継承し、人と人を繋げる場にします。古き良き古民家のある風景を守り、活かしていくことで、過疎化が進む農村部に、活性の光をあてていきたい。さあいばらきにしかできないおもてなしをはじめましょう

事業内容

古民家「華の幹」を小田城と宝篋山を訪れる年間 10 万人のお客様を迎える場として、保健所から営業許可を得るためには、「水洗トイレ」と「清潔な台所」が絶対にはなりません。華の幹が観光客でにぎわい、地元の人たちの雇用を生み出したとき、小田地区の古民家のまちなみは未来へと受け継がれ、生きた歴史遺産・城下町として愛され守られることでしょう。

対象者

都会の田舎暮らしにあこがれる若者や親子、学園都市の研究者と外国人・地元の高齢者

募集金額 3,000,000円

30万円 で上下水道を引けます。

50万円 で水洗トイレが1個、設置できます。(2つ必要です)

70万円 でトイレと台所の壁、屋根、床、雨どいの整備ができます。

100万円 で清潔な台所・厨房セットを購入できます。

② テーマを選んで寄付をする

事業を指定しなくても、関心のあるテーマを選び寄付することができます。

*いただいたご寄付は、公正な審査の結果、寄付者の方のご意向を考慮して希望された事業への助成を実行します。その際、20%はいばらき未来基金の運営費となります。

テーマ1

人々の自立やコミュニティ活動を応援する活動…………… 16

テーマ2

いばらきの未来を創る活動…………… 17

テーマ3

地域のつながりを育む活動…………… 18

事業指定助成は、今、県内で行われている市民活動で寄付募集している団体を応援するものです。テーマ別助成は、基金運営委員会が、これから茨城で増えてほしいと考えている活動の芽が伸びるように、担い手を探して資金や事業立ち上げの支援を行うプログラムです。テーマ別助成には、「孤立を防ぐ」、「未来の担い手と技術の育成」「地域のつながりづくり」の3つのテーマを設けています。それぞれのテーマの中には、コモンズが他団体と協力して行っているプロジェクトも含まれます。活動事例をご覧ください、気になるテーマがありましたら、そのテーマを選んでご支援をお願いいたします。

テーマ1

人々の自立やコミュニティ活動を応援する活動

震災や不況で家や仕事をなくしたり、家族が離れ離れになったり、風評被害にあいながらも、前を見て動こうとする人に寄り添い応援する活動があります。日本語が話せない、子どもの世話が大変など、事情があって仕事の機会が限られる人のための支援活動があります。引きこもりや無縁社会といった現象は誰もが直面するかもしれない問題です。行政の支援が届かない新たな福祉問題に取り組む活動や、孤立しがちな人のコミュニティづくりなど、共に生きる社会を目指す活動を基金は支援します。



福島からの避難者へ情報誌の発送



外国人の就労支援

- 活動の事例：●福島と茨城で二重生活を余儀なくされている家族への支援
- 就労しにくい人の仕事や職場づくり
 - 悩んでいる人や家族を支える活動
 - ひとり親世帯や単身世帯を応援する活動

福島からの避難者を応援する「ホープ常磐プロジェクト」

東日本大震災直後から、多くの市民、NPO、生協、労働団体、企業が協力して津波被害が大きかった北茨城といわき市への支援がスタート。2012年からは、原発事故の影響で本県に避難している約4千名の方々と共に生活再建を応援しています。福島の方向けの情報誌発行、各地での交流茶話会、自助グループの活動支援、子どもたちの学習支援、茨城での生活や仕事の支援、訪問による生活ニーズのききとりと行政への働きかけが主な活動内容です。先が見えない中で今も課題に直面している方々に寄り添う活動を継続するためご協力下さい。

テーマ2

いばらきの未来を創る活動

経済のグローバル化で、学校では外国籍の子どもが普通学級で学ぶケースが増え、高校進学が課題になっています。格差が広がり塾にいけない子どもたちも増えています。次世代を担う子どもたちが進学や将来の夢をあきらめなくてすむよう学びを支援することは未来への投資です。また、自然エネルギーの普及や乗り物を共有する仕組みづくりなど、持続可能な生活環境をつくるための活動も地域の未来をつくる活動です。地域の未来を明るくする人や技術が育つよう、夢や希望を本物の可能性に変える活動を基金は支援します。



外国人生徒の課外授業



ソーラーパネルの普及

- 活動の事例：●地域での学習支援の場づくり ●外国籍のこどもの高校進学を支援
- 進路を拓くキャリア教育
 - 自然エネルギーの普及
 - 地域内での資源循環
 - 自然環境を次世代に残す

外国籍の子どものための「学習支援プロジェクト」

茨城には、40,477人（22年度国勢調査）もの外国人の方が暮らしており、特に農業や工業を支えています。地域に定住する人が増える中で、学校でも外国籍の子どもが普通学級で学ぶケースが増え、日本語や学習面で課題をもつ子どもは県内の学校に約800名もいます。こうした子どもたちの不就学や不登校を防ぎ、高校進学率を高めるには、学校だけでなく、地域の支援も必要です。就学や進学に関する多言語での相談支援ネットワークをつくり、学習支援ボランティアを増やし、子どもたちの心の拠り所にもなる放課後教室を県内各地に広げるために、ご協力下さい。

テーマ③

地域のつながりを育む活動

社会の変化によって、地域にある大事な場所、風景、建物、人のつながり、文化が失われつつあります。限界集落に若者が入って村を残す活動、古い蔵や民家、公共施設などを改装して次世代に残す活動、商店街や団地の中に人が集う場や小さな福祉拠点をつくる活動など、地域の資源と課題を組みあわせて新たな価値や公共空間を生み出す活動があります。立場や地域を超えて人が交流したり、知恵を出しあって未来につながる課題解決に取り組むプロジェクトや地域円卓会議の開催を基金は支援します。



古民家を改修した福祉施設



地域円卓会議の様子

活動の事例：●空き家・空き施設を生かした公共空間づくり

- 地域にあるモノを観光資源に
- 地域や世代を超えてつながる交流企画
- 高齢者や子連れママが安心して外出できるまちづくり

課題解決の協働事業を生み出す「地域円卓会議プロジェクト」

地域にある課題を解決するとき大切なのが、課題に関心がある人、組織がアイデアを出し合う場です。アイデアを実践するには、資金、場所、人材をどう集めるか、が鍵になります。地域円卓会議は、NPO、企業、行政などが立場を超えて話し合い、地域の課題と資源を組み合わせる仕掛けです。「いばらき未来基金」も円卓会議から生まれました。車を運転できない人の外出や買い物支援、耕作放棄地の活用、市民参加による地域発電、様々なテーマで円卓会議を行います。そこで生まれた課題解決策の具体化のために、寄付で応援してください。

いただいたご寄付はこのように いばらきの未来をつくる活動に使われます。

いばらき未来基金へ寄付をする
(事業やテーマが選べます)

茨城NPOセンター・コモンズからの
領収書が届きます。
領収書は税制優遇の対象になるので
大事にとっておいてください。

各団体の活動に助成金が使われたら、
いばらき未来基金事務局に報告が届きます。
報告はWEBサイトや情報誌などで
お知らせします。

事業指定、テーマ別、それぞれの団体に
審査委員会の決定を受けて助成金が
支払われます。(20%がいばらき
未来基金の運営費に充てられます)

ご寄付の方法

・ゆうちょ銀行振替口座

番号 00110-3-263714 名称 NPOセンター・コモンズいばらき未来基金
振込用紙に、寄付先の希望(事業NO、テーマ名、プロジェクト名、基金全体など)をご記入の上お振込み下さい。

・銀行振込

常陽銀行 本店営業部 普通) 3637778
「認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ いばらき未来基金」
領収書が必要な方は、お振込みの前に事務局までお名前やご住所などをお知らせください。

・オンライン募金 WWW.ibaraki-mirai.org

クレジットカード、コンビニから24時間お振込みいただけます。

・募金箱

イベントや常設の募金箱を設置してご協力ください。募金箱やチラシなどは事務局から提供いたします。

・企業の方は、タイアップ商品の開発など

税の優遇措置について

茨城NPOセンター・コモンズへのご寄付は、個人の方なら、納めた税金の額から直接寄付金額が還付される税額控除か、総所得から寄付金額が引かれる所得控除のいずれかの方法を選んで控除が受けられます。また法人の損金参入枠の優遇や、遺産相続の際の税金も控除になります。詳しくは、コモンズ事務局までお問い合わせください。